

『歴史文化を活かす関西 - 百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産指定を契機に』

(一社)世界文化遺産地域連携会議 井戸 智樹 氏

資料2

歴史文化を活かす関西

一 百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産指定を契機に

- 1 世界文化遺産の現状
- 2 「百舌鳥・古市古墳群」の登録を受けやるべきこと
- 3 関西を日本の文化首都に！
 - 一 関西を南北3つに分けた連携推進

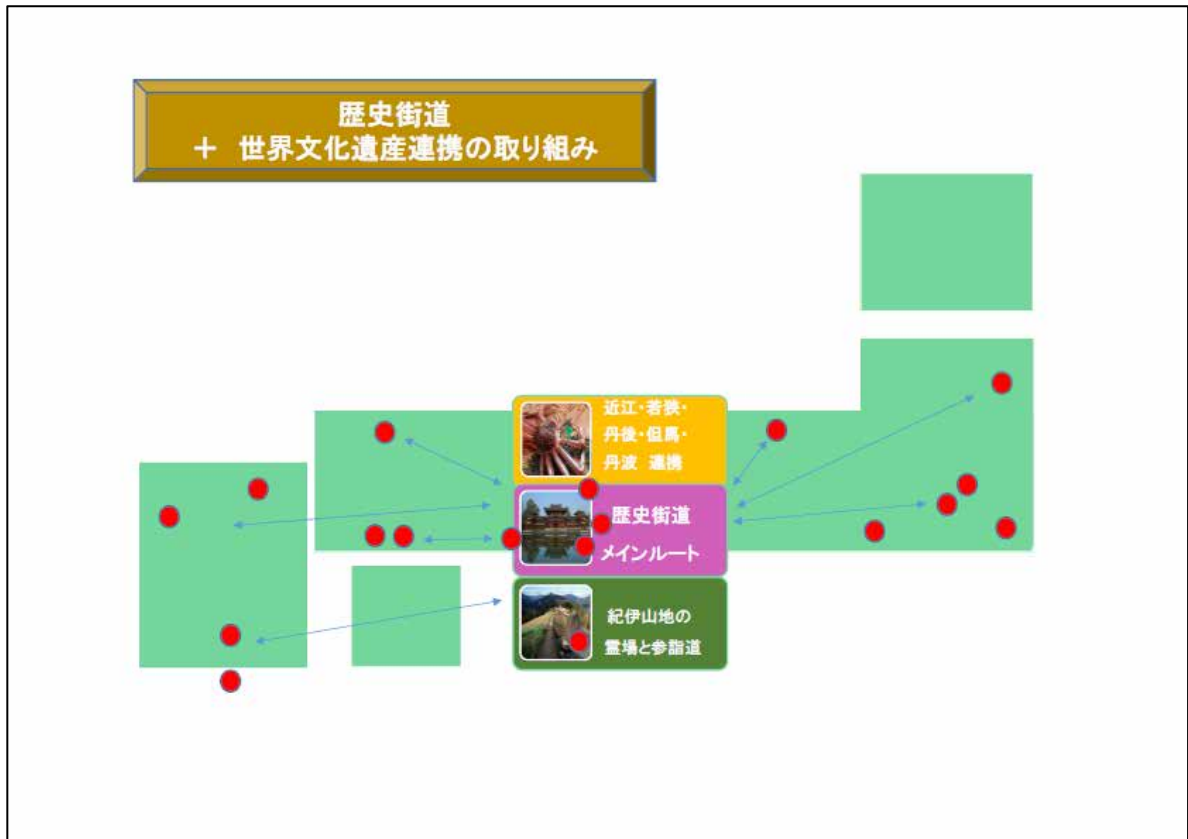
(一社)世界文化遺産地域連携会議 お世話役
歴史街道推進協議会 元・事務局長

井戸智樹

皆さん、こんにちは。

ここから20分間は文科系のお話をさせていただきます。委員をしております井戸と申します。33年間、地域連携にかかわっておりまして、歴史街道推進協議会というのを作って、先日、卒業しました。そして今、世界文化遺産地域連携会議で全国の世界遺産のネットワークをお世話しております。百舌鳥・古市古墳群のことだけでしたら大阪や堺の直接のご関係者もいらっしゃるのですが、少し幅広に、関西にとっての歴史文化をどうやって生かすのかということについて、お話をさせていただきたいと思います。

まず一つは世界遺産の現状について、それから登録をうけてどんなことをすべきか、それと、最終的にはインフラ整備にせよ、何にせよ、私は関西を日本の文化首都するためにインフラ整備をする！と言い切れないと、いまいち説得力がないと、はっきり言って思います。そのために関西を南北3つに分けた地域連携をはかる必要があるというお話しをさせていただきます。



もう少しご紹介させていただきますと、歴史街道推進協議会で関西を取り扱ってまいりました。私が主に取り扱ってまいりましたのが京阪神を中心としたメインのルート、南北近畿の振興ということで、その延長で世界遺産全国のお世話をしてきたということです。

1 世界文化遺産の(残念な)現状



世界遺産についてまず現状をお知らせします。19個、文化遺産があります。

北からいきますと、平泉、日光、富岡製糸場、国立西洋美術館、富士山、白川郷。ここ
までが東グループです。近畿ですと、京都、奈良、法隆寺、紀伊山地の霊場と参詣道、姫
路城、仁徳天皇陵古市古墳群です。中国地方では、広島原爆ドーム、宮島厳島神社、石見
銀山がございます。九州を中心としたものとしては宗像・沖の島、明治日本の産業革命遺
産群、潜伏キリシタン、沖縄の城(ぐすく)がございます。自然遺産が4つございまして、
合計23個世界遺産がございます。

ところが、非常に残念な現状があります。

訪日外国人観光客旅行消費額 4.4兆 →人気ディステーションbest20中、半数が世界文化遺産

1 特別な防災支援等なし＝このままでは永続的保全は無理！

例：今帰仁城跡、軍艦島30号棟

火災→京都・奈良・・・地震→姫路城・原爆ドーム・・・津波→宮島・・・

2 世界遺産予算皆無

文化庁の世界遺産予算は日本遺産の9分の1！

観光庁の世界遺産予算＝ゼロ！

3 法整備・きめ細かな支援策・省庁連携の欠如

例：バッファゾーン整備は条例頼り

小規模整備（白川郷の畳、熊野古道整備・・・）は地元任せ

沖縄国営公園と周辺遺産・・・

都道府県の過半数が世界遺産に関係 ⇄

世界遺産を核とした国土形成や広域計画不在

→ 出国税やIRからの資金をもっと有効活用できないのか？



まず、訪日外国人の直接消費額は年間4.5兆円とされています。国別の人数に平均消費額をかけたものです。人気観光地ベスト20のうち、半数が世界文化遺産です。

しかし、このままでは永続的保存が非常にむずかしい現状があります。

たとえば、防災では、奈良・京都に火災がおきたらどうするの？、宮島に津波がきたらどうするの？、地震がきたら姫路城はくずれてしまうじゃないか？ということがあります。

これは昨年くずれた今帰仁城です。去年の5月頃くずれました。これは軍艦島です。地震・津波が来れば一発でアウトとなります。ただ、この建物自体は世界遺産ではありません。明治日本ですから、世界遺産は港や地面より下の坑道の方です。そういう理屈で、くずれたらしょうがないという放置状態にあります。これは京都で防災上の水のカーテンを作った写真です。

それと、世界遺産の予算はなんと日本遺産の1/9しかありません。1.5億円しかありません。日本遺産は13.5億円です。日本遺産に指定されます業者から20本くらい営業の電話がかかってきます。しかし、世界遺産には営業電話はかかってきません。観光庁の予算は「0」です。法律もなければ支援策もないというのが世界遺産の状況です。

なぜかという、観光庁は文化庁が世界遺産をやっていると思っている。しかし、文化庁の担当者は登録するのが仕事だとしか思っていません。誰も面倒をみない状況です。外国

人の人気観光地ベスト20中、世界遺産は半数しめていますが、AKBでいうと、人気のある人を後ろで踊らせているという状況にあるんですね。今回、出国税等もできたことだし、そういったものを使って、もう少しきちんと保存・活用する方法を考えないといけませんということです。

(一社)世界文化遺産 地域連携会議

設立: 2011年
構成: 世界文化遺産を持つ57市町村長 および専門家100名

活動分野1: 世界遺産全体、また各地ごとの問題解消



それで、藤本さんや上村さんにもご協力いただいて、世界文化遺産連携協議会を8年前に作りました。

当時は世界文化遺産は11個中5個が関西でした。現在は全国19個中、関西は6個です。関西は全国ひっばっていけるということで、こういう会を作ったというわけです。

やっていることが3つあります。

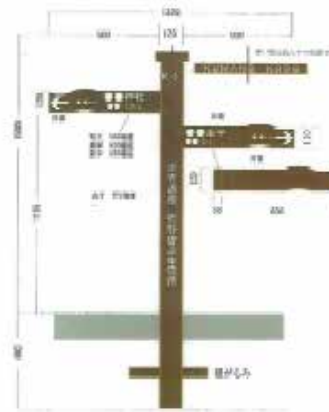
1つは世界遺産全体、あるいは各地ごとの問題を解消しようということです。特別法を作って世界遺産にきちんとした位置づけすること、陳情して現状を理解いただくということです。

それからこれは紀伊山地に台風が来たときに台風復活宣言をしたということです。

各遺産ごとのPT(紀伊山地の例)



<http://worldheritagejpn.com/wch/kii/index.html>



地域ごとにプロジェクトチームを立てています。

紀伊山地の例ですが、これは高野山と吉野と熊野の一番偉いご関係者が東京でシンポジウムをしているところです。

ここは何が弱点かという、県が3つ、市町村は25個に加え、鉄道も4路線に分かれています。近鉄は吉野のことを言い、南海は高野山のことを言い、JR西日本は白浜のことを言っています。

ここは仏教と神道と修験道の聖地が共存していて、道でむずばれていて、今も活動していることがコンセプトです。高野山、吉野等バラバラに情報発信していても、いつまでたってもこのコンセプトが理解されない、こういう偉い方に来ていただいてシンポジウムをして、10言語に訳して、東京オリンピックまでにホームページ化しようとしています。

面白いのですが、この方は私どもがむかし招聘したル・モンドの記者です。この方が高野山のことを本にしてベストセラーになり、急に外国人が日本に来始めました。私はおそるおそる挨拶をしようと名刺交換をすると、以前のことをよく覚えられていて、お互いにびっくりしました。これがなかったら高野山も大変だったかと思います。こういう外国語道標も100基くらい、熊野古道等で外国人が迷わないようにと作っています。

(発信素材のしぼりこみ)

3つの聖地

(高野山、吉野・大峰、熊野三山)

4つの絶景

(湊峡、七里御浜、鬼が城、串本)

5つの古道

(熊野古道中辺路、熊野古道大辺路、熊野古道小辺路、熊野古道伊勢路、大峰奥駈道)

6つの温泉

(勝浦温泉、熊野本宮温泉郷、白浜温泉、龍神温泉、洞川温泉、十津川温泉郷)

7つのパワースポット

(花の窟、神倉神社、大斎原、古座の一枚岩、天河弁財天、玉置神社、立里荒神社)



いろいろなものがありすぎてわかりにくいので、わかりやすく絞り込もうということで、委員会を作って、3つの聖地、4つの絶景、5つの古道、6つの温泉等、2年ほどかけてコンセプトをまとめたりしています。

(斑鳩PT)

<https://www.youtube.com/channel/UC809E-q622tUJEtTmoA1M9w>

(京都PT)二条城でのアートアクアリウム

※過去3回実施の合計入場者60万人強、入場料の10%(7千万円)を世界遺産保全等に寄付



その他、近畿では斑鳩のプロジェクト、京都のプロジェクトではアートアクアリウムというイベントを二条城で3回開催しました。3年間で70万人来場。入場料の10%を二条城の保全のために寄付し、合計7000万円ぐらいを寄付できております。

活動分野2 各種共同事業の実現

世界文化遺産 ⊗ 新幹線で外国人観光客誘致を！



活動分野2つめは、各種共同事業を実現しようということです。

新幹線を使えば世界遺産全部を1週間くらいでまわることができるよというようなことをPRしたり、観光ゴミを持ち帰ろうとか、西日本の世界遺産連携で大阪駅のジャックをしたりもしています。民間では富岡と白川郷で共同の絹石けんを作ったりと、色々なレベルでの共同事業の実現をしようとしています。

2020を「脱・東アジア」インバウンド 元年に！

2019-20 「世界遺産」リレー催事（調整中）		
2019・10	みあれ祭(宗像大社) (百舌鳥・古市「世界遺産劇場」)	富岡 5周年 紀伊山地 15周年 日光 20周年 京都 25周年
11	世界遺産サミット(日光) (京都・紅葉イベント)	
12	サイレント・クリスマス(平戸ほか)	
2020・1	ニューイヤーイベント(姫路城)	明治日本 5周年 琉球王国 20周年 白川郷 五箇山 25周年
2	御燈祭(神倉神社)	
3	世界遺産桜リレー(今徳仁→姫路・京都・吉野・富士山→平泉)	
4	↓ 法隆寺御宝展	
5	藤原まつり(平泉) 世界遺産劇場(富岡?)	
6	白川郷一斉放水EX	
7	五輪自転車競技(富士山一周) 上野公園PV 富士山開き神事	
8	↓ なら燈花会 灯籠流し(原爆ドーム周辺) 宮島花火	
9	オリ・パラ閉会 明治日本の産業革命遺産5周年	
10	アクアリウム城(二条城) 世界遺産サミット(沖縄)	




今、一番力を入れているのが、2020年をめがけて、世界遺産各地でリレー形式のイベントをしようとしています。1年間のスケジュールがほぼできあがっている状態です。

これは平戸のサイレント・クリスマスです。サイレントなクリスマス。要は教会行事に観光客が参加できるというものです。姫路ではオリンピック・イヤーのカウントダウン・イベントがあります。桜リレーということで、沖縄から平泉まで、数ヶ月かけてリレーを行います。法隆寺では特別展をやります。白川郷では11月にやっている放水行事を6月の暑い時期にやります。

活動分野3 人材・ノウハウの交流



世界遺産サミット

2014京都→15和歌山→16岩手→17石見→18姫路
(→19日光→20沖縄)



テーマ別ワーキング



地域リーダー合宿



地域別交流会

人材・ノウハウを交流するということが3つめの重要ポイントです。

京都でやりました世界遺産サミットです。姫路や和歌山でも開催しています。

2 「百舌鳥古市古墳群」 の登録を受けやるべきこと

(1) 訴求ポイントの明確化

- わが国で一番古い時代の世界遺産
- 巨大古墳中ベスト3(ベスト10中6つ)が含まれる
- うち3つの周囲を回ると・・・ など

	古墳名	サイズ(M)	場所
1	仁徳天皇陵古墳(大山古墳)	486	大阪府堺市堺区大仙町
2	応神天皇陵古墳 (萱田御廟山古墳)	425	大阪府羽曳野市萱田
3	履中天皇陵古墳 (石津ヶ丘古墳)	365	大阪府堺市西区石津ヶ丘
4	造山古墳	350	岡山県岡山市新庄下
5	河内大塚山古墳	335	大阪府羽曳野市南恵我之荘・松原市西大塚
6	五条野丸山古墳	310	奈良県橿原市見瀬町・五条野町
7	ニサンザイ古墳	300以上	大阪府堺市北区百舌鳥西之町
8	渋谷向山古墳(景行陵)	300	奈良県天理市渋谷町
9	仲姫命陵古墳(仲津山古墳)	290	大阪府藤井寺市沢田
10	作山古墳	286	岡山県総社市三須

そのような活動をしているわけですが、百舌鳥・古市古墳群の登録をうけてやるべきことが3つほどあります。

1つは、訴求ポイント明確にするということがあげられます。百舌鳥・古市古墳群の特徴はいろいろありますが、現時点では、我が国で一番古い時代の世界遺産です。百舌鳥のついでに古市があるように思われがちですが、百舌鳥より古市の方が古いです。ですから、羽曳野、藤井寺はもっとがんばってほしいです。

それから世界巨大古墳中、ベスト3が含まれています。ベスト10のうち6つが含まれています。

周辺を回ったりできます。私も歴史街道で長くおじいちゃん、おばあちゃんを連れて回りましたが、1周まわると忘れません。一生ものです。ですので、「3つ回ると何かがある・・・」等とか、何か皆で申し合わせてやればいい。

ということで、1つめは訴求ポイントを明確にしないとダメということです。

(2)世界遺産地域の先進事例に学ぶ

景観形成(京都市:屋外広告物一斉撤去)



2つめは、世界遺産地域の先進事例に学ぶということです。

世界文化遺産だけですでに18個あります。急に観光客が来たり等、いろいろ苦しみながら開拓してきたものですが、それをとりあえずマネするというのであります。

たとえば、京都であれば「屋外広告物の一斉撤去」。毛利さんが一生懸命やられたことかと思えます。

景観形成(五箇山=南砺市)

住民駐車場を地下化



これは五箇山です。なんと村の中は車が一台も走っていません。なぜかというと、この下が駐車場となっています。村民駐車場を地下に設けています

住民協定(NPO日光門前まちづくり)

保全すべき資源活用

- ・「日光東町学」の確立を目指しましょう！
- ・伝統行事を大切にしましょう！
- ・屋台が見られる工夫をしましょう！
- ・日光の豊かで美しい水を守りましょう！
- ・日光東町を巡るツアーを企画しましょう！
- ・回遊性の高いまちづくり
- ・横町や路地を楽しめるようにしましょう！
- ・街なかの空地を活かして駐車スペースを確保しましょう！

賑わいのあるまちづくり

- ・商業力を高めましょう！
- ・空家空店舗を活用しましょう

おもてなしのまちづくり

- ・店先を美しくしましょう！
- ・夜の灯りを演出しましょう！
- ・休憩スペースを提供しましょう！
- ・分かりやすい案内をしましょう！
- ・バリアフリーを推進しましょう！

調和した街並み

- ・天然の素材にこだわりましょう！
- ・壁面と屋根の基調となる色を尊重しましょう！
- ・街並みにあった看板にしましょう！
- ・建物と空間の連続性に配慮しましょう！

各町の特徴を活かしたまちづくり

- ・町の性格の違いを活かしましょう！
- ・町印やイメージカラーの活用を図りましょう！

これは日光の例ですが、町内会で住民協定をつくってしまして、例えば「調和した町並み」を作ろうとか「おもてなしのまち」にしようとか「保全すべき資源活用」「賑わいのあるまちづくり」等、住民が考えた例であります。

日光で出来るのであれば関西でもできないはずはないと思います。

魅力紹介施設 (富士山・軍艦島・韮山反射炉)



魅力紹介施設は新しいものほどよくできていて、富士山、軍艦島の民間のデジタルミュージアム、これは小規模ではありますが、韮山反射炉の前の施設です。

移動空間の演出

世界遺産 周遊バス(平泉町)



世界遺産航路

(原爆ドームー厳島神社)

移動空間の関しましては、平泉の周遊バス、世界遺産航路としまして原爆ドームや厳島神社があります。

有料ガイド (日光の「堂者引き」、富岡製糸場)



一般 20名まで6000円
40名まで7000円
350年の歴史



入場料1000円に値上げ
+ガイドツアー200円

ガイド関係では、有料ガイドで日光とか富岡製糸場の事例があります。

DMC(着地型旅行業)

田辺市熊野ツーリズムビューロー (紀伊山地の霊場と参詣道)



・欧米インバウンド中心に
H29の取り扱い3・5億円

・マーケティング&プロモーションに特化

・理念:持続可能な観光地づくり

←地道な「アナログ」活動+IT

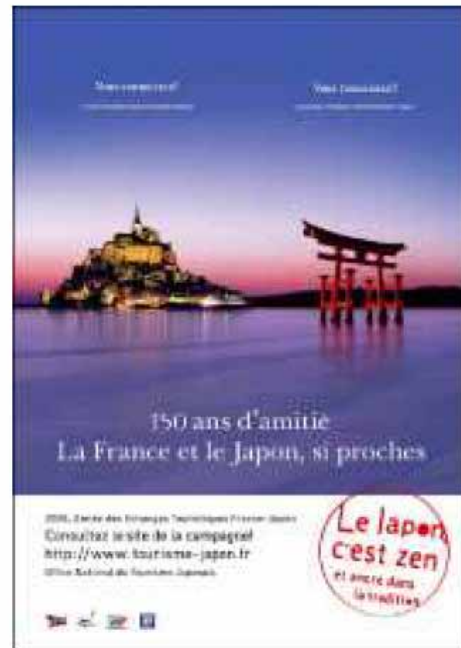
←カナダ人スタッフの雇用

着地型旅行業では、熊野のところが一番進んでいます。年間4億くらい儲けておられる。ネットで申し込みして、宿泊は民宿のおばちゃんのところですよ。なので、ここのお仕事は、ネットで受けた申し込みを民宿の方に中継ぎをされているということです。カナダ人を雇用されていて、この方が非常によい情報を発信されています。

たとえば、熊野本宮は水害で流される前、そもそもの姿は女性のおそこの形をしていたんですね。そこに1回入って、出て、よみがえるというようなことです。そういう仕掛けなんです。それまで解って来ているのは外国人ばかりです。日本人は知らないから、ただ本殿に行ってお参りして帰るだけで、「京都の方がええなあ」と言いながら帰っていく。

こちらのカナダ人スタッフはすごく貢献されています。

姉妹提携



姉妹提携は、「姫路城とノイシュバンシュタイン城」「宮島とモンサンミッシェル」。このように、いろいろ進んだ事例がありますので、これもどんどんマネされたらよいと思います。

(3) 南大阪だけの話にしない！

例1:大阪マラソンコースの再考
による府市の魅力紹介

万博・IR予定地(一太陽の塔)
一大阪城(御堂筋)・熊野街道
一大仙公園

EX 関東(箱根駅伝)・広島・京都・・・

例2:関西中央部における
世界遺産連携

(歴史街道メインルートの見直し)



3つめのポイントは、南大阪だけの話にしたらもったいないということです。

例えば、実は、私はむかし、箱根駅伝の補欠選手でありました。箱根駅伝というのはコンセプトがすごいんですよ。正月に、都会から海と山を通して、その向こうに富士山がある。そして1月3日に東京に戻るというコースです。

今の大阪マラソンですが、堺も含めて少し考えてはどうかと思います。

例えば、万博予定地 大阪城 熊野古道 大仙公園を通るとか。そうすると2時間半で大阪の魅力がわかるのではないかと思います。今までは府市がバラバラでしたが、これからは是非そうしたことも考えていただきたい。

もちろんこれはほんの一例です。それぞれのお立場でなんとか百舌鳥・古市を生かすことに頭をひねっていただきたいと思います。

歴史街道の立場から言いますと、もうそろそろメインルートを変えてもいいのでは？と思います。百舌鳥・古市 法隆寺 奈良 京都 姫路で全部世界遺産です。しかも時系列にもなっていますので、今のコースを変える方がいいのではないかと個人的には思っています。

3 関西を日本の文化首都に！ - 南北3つに分けた連携推進

(1) 歴史街道推進協議会時代にやってきたこと

① 歴史文化を生かした地域づくり

- 歴史街道モデル事業62市町村（宇治市「源氏物語のまちづくり」の例）



② 広域の観光振興 - テレビ番組3800回



③ 海外への情報発信 - 海外のべ50都市で関西PRイベント



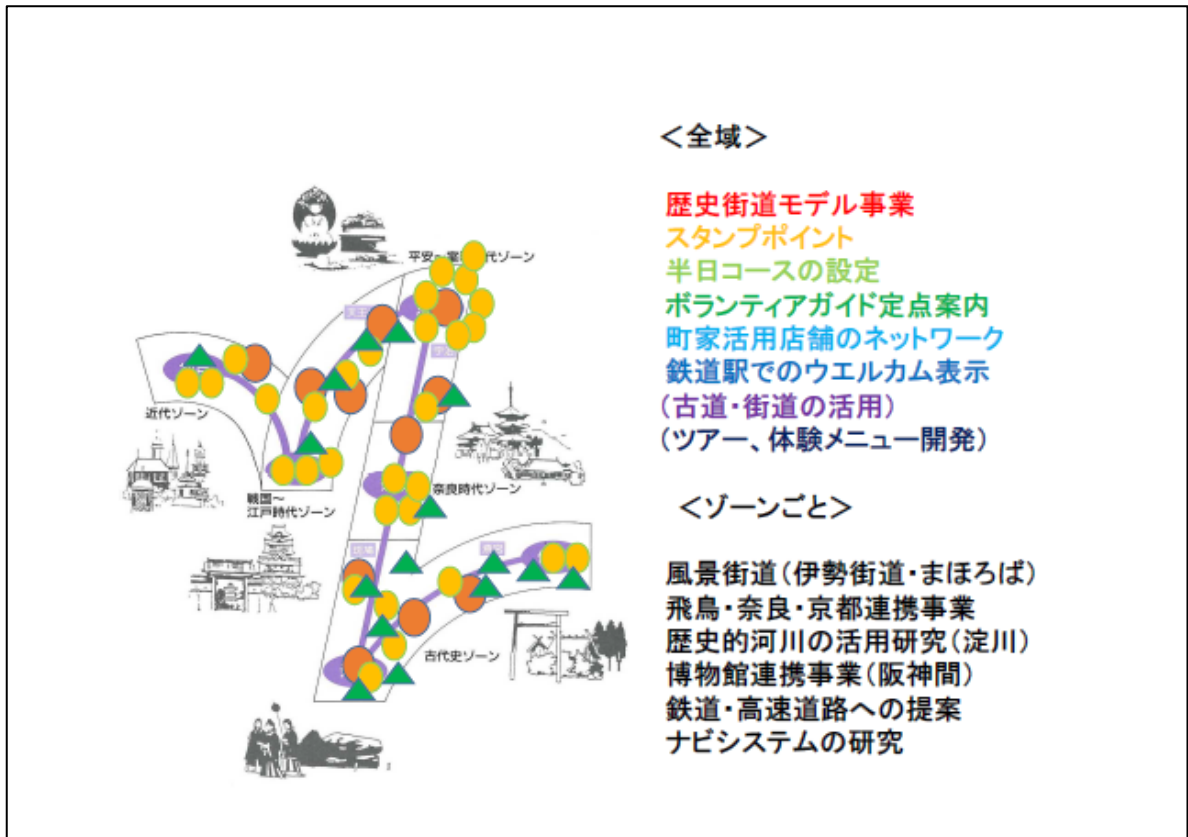
3 番目のお話です。

関西を日本文化首都に！南北3つに分けた連携推進のお話ですが、以前の職場は日本文化を生かした地域づくりをやって行こうと、事務局の黒谷さんにご協力ご指導いただきながら、近畿50地区、62市町村、それぞれ違うコンセプトでまちづくりに参加して参りました。

こちらがその様子です。

TV番組も3800回つくっています。

海外への情報発信なども、関空に来ている国を全部行こうということで、10年くらいかけてまわった記憶があります。



その間、いろいろな聖域活動とか、スタンプとか、半日コースとかやってきました。

(2) 関西を南北3つに分けた連携推進
(南北近畿の活性化)

北部 (近江―若狭―丹後―但馬―丹波―淀川:環状高速道路を核にした連携)	◎京阪神・中京圏ファミリー ▲インバウンドへの基礎対応
中央部 (京阪神・堺・姫路・大津・奈良・伊勢志摩)	◎欧米インバウンド ▲三都物語 + 百舌鳥古市含めた世界遺産地連携
南部 (紀伊山地の霊場と参詣道)	◎神秘・癒し・蘇り・日本精神文化のファン(全国・海外) ▲世界遺産登録コンセプト(異なる三つの宗教聖地が共存し、古道で結ばれ、今に生きる)のアピール

一方では、中央部だけでなく南北近畿の振興をやらなければいけないということで10年ぐらいがんばってきました。

なぜかというと、関西、関西と言うだけでは、どうしても大阪の話になっていきがちなんです。すると、京都や地方部は知らん顔するんですよ。”関西ではなく大阪の話やん”と言われる。

結局、関西という大ぐくりの話だけでは、特に南北近畿が置いてけぼりになってしまう。

南北は県が複数にまたがっております。しかも、一緒に推進したら効率がよいこと、一緒にやらなければならないテーマが多いということで、私は南北3つに分けて、それぞれターゲットも違うということで、南部であればコアな精神文化やハイキングのファンを全国、世界から呼べばいいし、北部であれば京阪神の家族連れ中心に行ってもらえばよいと思います。

事業項目	歴史街道2号 (近江山崎の古道と金谷道)	歴史街道3号 (北近畿-琵琶湖-会と歴史の道)
1. 地域整備・まちづくりルート形成	①歴史街道モデル事業 田辺市(本宮地区・口熊野地区)、樺本市、新宮市、那智勝浦町、高野町、紀の川大和街道地区、吉野町、西熊野街道南辺地区(五輪市、天川村、十津川村、野迫川村) ②外圍標表示不足箇所調査 (熊野古道中辺路以外の各古道)	①歴史街道モデル事業 大津市、甲斐市、近江八幡市、彦根市、南越前町(今庄地区・南条地区)、あわら市、永平寺町、北丹後地区、口丹後地区 ②日本風景街道「琵琶湖・中山道」
2. キーパーソンネットワーク	紀伊半島交流会(メンバー79人・MLのべ利用351回)	北近畿・琵琶湖と歴史の回廊を作ろう会(メンバー95人・MLのべ利用444回)
3. 地域施設等ネットワーク	観光案内所等(33箇所)	観光案内所等(33箇所)
4. 魅力発信	3つの聖地、4つの温泉、5つの古道、6つの温泉、7つのパワースポット	ツアーコース(5泊6日)の設定
5. ツアー (H30年度)	和歌山市(5月26日) 大津町(9月8日) 高野山(10月31日)	中山道(草津・守山:4月7・15日) 大津・京都(9月1日) 石山寺(10月15日) 中山道(武知・愛知川:H31年4月)
6. 紙媒体 (H30年度)	①多言語ガイドブック等整備(高野) ②月刊歴史街道(通巻:4月号予定) ③歴史の旅人専号(和歌山市) ④歴史の旅人専号(大津町) ⑤全体パンフレット	①月刊歴史街道(石山寺:10月京丹後:12月号) ②10言語へのQRコード入りポスター(道の駅・官治施設等に配布1000枚) ③全体パンフレット
7. 映像	①旅の星(熊野本宮大社:12月) ②ABC歴史街道(2015:高野)	①全体プロモーション映像の制作 ②ABC歴史街道(2014小浜・2015近江八幡・2017彦根)
8. ネット系	11言語HP http://hii-m-r.com/	①11言語HP http://northkansai.com/ ②プロモーション映像のYahooインフィード広告(中京圏)
9. イベント・シンポジウム展示 (H30年度)	①三養寺シンポジウム(9月5日大坂→台風により中止) ②関・H29東京実施分を10言語に翻訳→HP化 ③マドリッドでの熊野古道セミナー	共同展示(原野高道:2-3月) (万博鉄道まつり→3月予定だったがイベント自体が中止)
10. メディアとの関係強化	メディア訪問(東京2回・名古屋1回:→H27年)	メディア訪問(大阪1回・名古屋1回:→H27年)

それで、南北に関して各10項目くらいの事業を行ってまいりました。

私は関西のことをわかりやすく紹介し、なおかつ、地元の方が能力・やる気を発揮できるようにするためには、関西を南北3つに割って考えていくしかないだろうと考えています。

北における環状高速道路の活用

https://www.youtube.com/watch?v=TW2ChCATK_k



北部に関して申し上げますと、環状の高速道路ができました

観光的には横網はいませんが、越前ガニがあったり、但馬牛があったり、篠山のまめとか、その他諸々あるわけですから、そうした食文化にも着目して、この高速道路が繋がったことをなんとか全体の連携に生かしていきたいと思っております。

地元の方によく話すのですが、みんな京阪神のお客を取るライバル同士であり、但馬と丹波と一緒に何かをするという発想がなかったんです。

例えば、私が言うのは、SMAPでいうとキムタクはキムタクで頑張る、中居くんは中居くん頑張るので良いではないか、でも、SMAPでやったほうが得する時はSMAPでやらないと、例えば東京の人に来てもらうとか、外国の人に来てもらうという話しにはならないよ、ということなんです。

これは、各地に1000枚くらい貼っている地図なのですが、QRコードでピッとさせていただくと10言語で各地の説明ができるようになっているものです。

<中京圏へのSNS広告>



「北近畿・琵琶湖 食と歴史の回廊」SNS広告実施結果

1 実施概要

ターゲット

名古屋市・岐阜市・鈴鹿市・岡崎市・豊田市(名古屋周辺の人口圏で高速道路で結ばれている地域)の50台以上男女、30台ファミリー層

実施時期 2018・10・26-11・25(1か月間)

2 (予算50万円に対する)実施結果

- ・ 表示回数 219万7119回
- ・ クリック数 4829回(クリック率0.22%、クリック単価 104円)
- ・ 30秒以上の映像視聴回数 3550回(広告をクリックした人4人に3人)
- ・ 映像の平均視聴時間 1・18分
- ・ 50台以上男女のクリック率 0.34%、30台ファミリー層は0・13%
- ・ ジャンル(広告コピー)別では50台以上への「グルメ・温泉」のクリック率が0・40%(クリック単価94円)、50台以上への「歴史」のそれは0・19%(同98円)、30台への「グルメ」が0・14%(同121円)、30台への「グルメ・絶景・温泉」が0・11%(同121円)・・・

こういうものを使って、携帯の広告をしたり等、いろいろなことをやりました。

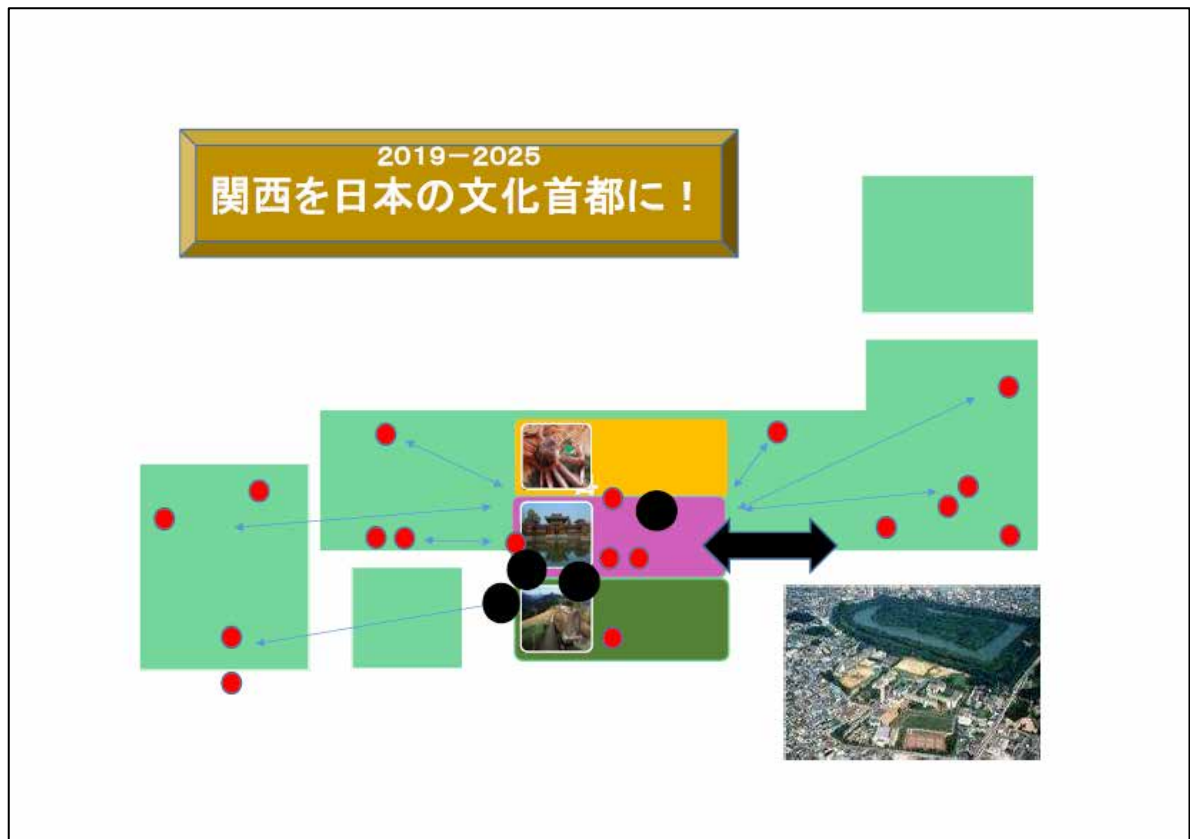
携帯の広告は予算50万円くらいで試しにやりました。中京圏でやって、表示回数は220万くらいになりました。それなりのものになったかと思えます。

ただ、なかなか高速道路に来ていただくことについては、誰がやるのと言う話になってしまって、どうしても作る側は作ったら終わりという感じで、地元は地元で、やってくれてありがとう・・・という感じになったりと。やっぱり一緒にやって得するところは、できるだけ皆で一緒にやるべきだと思っております。

北近畿・観光まちづくりの輪



これも黒谷さんとやった分ですが、地域ごとに10年くらいかけて整備計画を作っておりまして、高速道路によって、こうしたものが線のかたちになっていくということです。



ということで、「関西を日本の文化首都にする」という1つの旗を掲げて、しかも、そのための技術としては南北3つに分けて考えていかれるのが良いのではないかとというのが私のご提案であります。

関空ができております。

仁徳陵が今度、世界遺産になりました。

京都に文化庁がきます。

関西に万博、I Rがきます。

そして、リニアということですので、この機会を生かさない方はないと思います。

文科系的結論としては、そのための旗印が「関西を日本の文化首都に！」ということではないかと。

百舌鳥・古市古墳群の登録を契機に、こうしたことをぜひ一緒に考えていただきたいと思っております。

(まとめ)歴史文化を生かす関西

ー 百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産指定を契機に

- 1 日本の世界文化遺産施策の現状は大変お粗末
これを是正することが国益につながる
- 2 「百舌鳥・古市古墳群」関係地域でやるべきことは
①訴求内容の明確化と、②まず既存遺産事例に学ぶ
③それぞれの立場で今回登録を活かす
- 3 関西として、大きく目指すべきものが要る
それは恐らく、「文化首都づくり」(機は熟しつつある)
- 4 南北3つに分けた連携イメージ＝「文化首都づくり」の基本

結論です。

まず1点目は、日本の世界遺産施策は非常にお粗末ですが、この是正が国益に繋がるといことです。

2点目は、百舌鳥・古市関係でやるべきことは 訴求内容の明確化、 既存事業に学ぶ、それぞれの立場で今回の登録を活かしましょうということです。

3点目は、関西として大きく目指すべきものが要るだろうという中で、おそらく「文化首都」をみんなで作ろうではないかということで、機は熟しつつあるだろうということ。

最後に、関西南北3つに分けた連携のイメージ。これが「文化首都づくり」の基本にあるのではないか・・・というご提案でありました。

どうもありがとうございました。